

# 昭和49年度 和歌山県文化賞

いし けた まれ お  
石 桁 眞禮生

住 所：東京都渋谷区

出 身 地：和歌山県

生 年：大正4年

## ◎業績及び経歴

昭和13年東京音楽学校甲種師範科を卒業後母校に勤務し、昭和40年東京芸術大学音楽学部教授となり、同49年同校音楽学部長となる。

氏の主要作品は、昭和27年「管弦楽のための組曲」昭和30～41年「交響曲」（嬰へとハを基音とする）昭和21年「弦楽四重奏曲」昭和23年「チェロ・ソナタ I 番」昭和39年「チェロ・ソナタ II 番」昭和47年箏・箏・鼓による「無依の詠」昭和48年2人サクソホーンによる「黙示」昭和36年オペラ「卒塔婆小町」同42年「コシャマイン記」昭和38～43年NHKからの依頼によりオペラ「魚服記」また歌曲「風土」「鎮魂歌」「盲目の秋」などが代表作である。

著書に「楽式論」がある。

本県へは、音楽教育や文化講座などの講師としてたびたび来られている。現在、毎日新聞社、NHK共催の音楽コンクール作曲部門審査員、現代音楽家協会々員で我が国クラシック音楽界の第一線で活躍されている。